

あれこれ通信

Tel / Fax 0493-62-7997
http://space.tom-shibuya.com
e-mail 713@tom-shibuya.com

渋谷とみ子の議会報告No.73

元気な嵐山町をデザインしましょう

若い人が住み続けるために嵐山町の人口は毎月減少し続けています。町の住民登録異動調査票では昨年1月1日18668人が12月1日は18432人(外国人含む)異動事由は出生114人・死亡202人、転入606人・転出721人、その他事由32人の減。転出先は県外よりも県内が多い。嵐山町は住みやすいでしょうか。親から自立する人が嵐山町で生活できる町にしたいですね。そのため、近くに雇用の場、若い人が起業できる仕組み、若い人の新しい発想を取り入れる手法が必要ですね。

みなさん、どんなアイデアがありますか。嵐山町がどのような事業に取り組みばいいのか、子どもを育てる人が町に何をのぞんでいるのか、その望みがかなえられないなら、どのようにしたらいいか話し合う場がほしいですね。

議会は役にたっていますか。

議会で町の生活を豊かにできる仕掛けを提案したいのですが、議員提出議案を提案しても議会の多数派である政友会が否決する状況が続いています(P4参照)。

2011年の議員選挙後、議会基本条例が実施されているので議会は住民へ開かれつつあります。が、今後の課題や政策づくりは今一步。新しいチャレンジをしていきたいのですが……

みなさんの力で町をかえましょう。

町は、みなさんが働きかけることで変わっていきます。住みやすくなります。嵐山町に眠っている人材、外に出て行った人材、孤立した人、若い人、10年たった大人になる人の意見を公の場で発言・活動できるように町をかえましょう。



「嵐山町をデザイン！」 未来の嵐山町を話しあっていきませんか。

第1回 3月9日(土)午後1時30分～4時まで

場所 ふれあい交流センター会議室 101

皆さんで自由に話して、そして、次の一步を考えていきましょう。